



防災カフェ ☕

大雨の季節に備えて

今から137年前の1884年（明治17年）6月1日に全国の天気予報の発表が開始されました。最初の天気予報は、「全国一般風ノ向キハ定リナシ天気ハ変リ易シ但シ雨天勝ち」という日本全国の予想をたった一つの文で表現するもので、東京の派出所等に掲示されました。現在ではスーパーコンピュータなどを使用し、より詳細かつ正確な天気予報の発表が行われています。

6月は梅雨入りとなり、台風の発生も増えてくる季節で、北海道では水害の未然防止や軽減に資することを目的とした水防月間に定められています。天気予報に注意を向けることで、水害や土砂災害等の危険から身を守る

ための行動をおこなうことができます。特に大雨による災害の発生が危惧されるこれからの季節、災害から身を守るため、身近な防災情報の入手手段として、日々の天気予報を活用しましょう。



●詳細 危機対策係 ☎27-7058

火災予防の注意喚起

令和3年中の芦別市における火災件数は、4月末日現在5件で、内訳は建物火災4件、その他火災1件となっており、現時点（4月末日）で令和2年中における1年間の火災件数より多くなっています。また、火災による死者も、令和元年より3年連続で発生している状況です。

火災は私たちにとって大切な、生命、身体及び財産を奪ってしまいます。

火災から身を守るためには、「早く知る」「早く消す」「火を拡大させない」ことが重要となります。

火の不始末に注意するのはもちろん、住宅用火災警報器や住宅用消火器を設置して、命を守りましょう。共同住宅の場合、失火時には他の入居者に迷惑を掛けるだけでなく、多くの命を危険にさらす事になります。今一度、安全・安心な生活を心掛けて頂きますよう、宜しくお願いします。

●詳細 芦別消防署保安係 ☎22-3106



夏山遭難の防止

～体力や技術の過信は遭難のもと～

○無理のない計画を立て登山計画書を提出／登山技術、体力、経験に応じた山を選ぶなど無理のない計画を立て、登山計画書を作成して、家族や職場等に渡すほか、最寄りの警察署または交番・駐在所に提出しましょう。

○複数人による登山を心掛ける／事故の遭遇時に対応できるように、経験豊富なリーダー等と一緒に登山しましょう。

○万全の装備と余裕ある食料等を準備／登山時の装備不備や食料不足が最悪の事態を招くおそれがあり、急激な天候の変化にも耐えられる十分な装備と、停滞時に備える食料や燃料等を準備しましょう。

○携帯電話を持つ／万一の遭難に備え、携帯電話を必ず持ちましょう。

○気象情報の確認を／入山前には必ず天気予報を確認し、天候の悪化が予想される場合は、登山を中止する。

また、途中で天候が悪化した場合は、すぐに引き返すなど安全な登山に努めましょう。

●詳細 芦別警察署 ☎22-0110

